

## 令和2年度野々市市創生総合戦略推進会議 会議録（要約）

日 時 令和3年2月1日（月）14時開始

場 所 情報交流館カメラア ホール椿

### 次 第

1 開 会

2 市長あいさつ

3 会長の選出

4 議 事

(1) ののいち創生総合戦略について

(2) 令和元年度におけるののいち創生総合戦略の推進状況について

(3) 地方創生関連交付金等（令和元年度）の効果検証について

5 委員からのご意見等

6 閉 会

### 出席委員

石 川 憲 一 会長

榎 本 俊 樹 副会長

飯 田 克 志 委員

狩 谷 満 春 委員

小 西 利 之 委員

澤 村 昭 子 委員

清 水 義 晃 委員

徳 野 三知應 委員

西 村 一 正 委員

初 野 健 二 委員

藤 田 雅 顯 委員

山 口 誠 委員

司会  
(開会)

定刻となりましたので、ただ今より、令和2年度野々市市創生総合戦略推進会議を開催いたします。本日は、皆様方には、大変ご多用のところ、ご出席くださりまして、誠にありがとうございます。

私は、本日の司会進行を担当させていただきます、企画課長の木戸口でございます。よろしくお願いいたします。

初めに、本日の会議ですが12人全委員が出席でございます。

従いまして、野々市市創生総合戦略推進会議設置要綱 第6条第2項の規定により、委員12人のうち半数以上の出席がありますので、会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。

次に、開会にあたりまして、皆様にお願いが二点ございます。

一点目は、この審議会は、開催状況を市のホームページで公表しております。会議録を作成するため、本日の会議の内容を録音させていただきたいと思っております。発言の際は、マイクをお持ちいたしますので、マイクをご使用いただきますようお願いいたします。

二点目は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、今回の会議は1時間程度での開催を想定しております。資料や説明に関するご質問やご意見は簡潔にまとめていただき、会議の円滑な進行にご協力いただきますようお願い申し上げます。

また、会場は適宜、換気させていただきます。

続いて、本日の会議資料を確認させていただきます。

送付させていただいたA3サイズの資料ですが、資料番号1番が1枚、資料番号2番は右下に記載のページで1～4ページの4枚、最後に資料番号3-1から3-3までの3枚でございます。

さらに本日皆様のお手元に配布させていただきましたA4サイズの委員名簿がございます。

皆様よろしいでしょうか。

また、皆様のお手元に委嘱状を配布させていただきました。

令和2年3月31日にて「第1期のいち創生総合戦略」の実施期間が完了となりましたことから、一旦委員の皆様の任期も満了となりました。

これまでに引き続き7名の方に、また本日より新たに5名の方に委員に

<p>司会 (市長あいさつ)</p>	<p>ご就任いただきます。委員をお引き受けいただき、ありがとうございます。</p> <p>本来であれば市長より直接お渡しさせていただくところですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今回は机上での配布とさせていただきます。</p> <p>続いて、会議の開催にあたりまして、市長より、委員の皆様にごあいさつを申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>委員の皆様には、大変お忙しい中、本日の野々市市創生総合戦略推進会議にご出席をいただき、誠にありがとうございます。また、今年度新たに就任をいただいた皆様もありがとうございます。</p> <p>昨年3月には、皆様のご協力の下、「第2期ののいち創生総合戦略」を策定することができました。本市の将来に向けて、様々な角度から考えていただき、作り上げていただけたと感謝を申し上げる次第でございます。</p> <p>この第2期戦略につきましては、「持続可能なまちづくり」ということで、特に今、全世界が取り組みを進めておりますSDGsの目標の整理をして、いわゆる見える化をして、掲載したところでございます。市としても、このSDGsについては、市の未来に必要な要素と考えており、昨年には金沢工業大学様のご協力の下、職員を対象として、SDGsについてのご講演もいただき、職員の知見を深めることができたと思っております。自分たちの生活と、SDGsが密接な繋がりがあることを理解し、一人ひとりが自分のこととしてとらえ、行動する重要性を痛感したところでもございます。</p> <p>さらに、若者の皆さんの学びや、まちづくりへの参加を加速化させるため、昨年末になります。金沢工業大学様、また今年に入って、北國新聞社様と、それぞれSDGsに関する協定も締結をさせていただきました。これからの若い世代の方が、本市を舞台に様々な活躍をしていただくことを期待しているところでございます。</p> <p>このSDGsをはじめとして行政のデジタル化や、まさに今、私どもが大変恐れをなしている新型コロナウイルス感染症への新たな対応も含めて、行政に求められている課題は、大変目まぐるしく変化をします。委員の皆様のお力をお借りして、そういう状況に的確に対応をしていきたいと</p>

<p>司会</p>	<p>思っております。</p> <p>本日も忌憚のないご意見を賜りますように、お願いを申し上げまして、開会にあたってのごあいさつとさせていただきますと思います。どうぞよろしく願いをいたします。</p> <p>(委員の紹介)</p> <p>(職員の紹介)</p> <p>それでは、次第3 会長の選出に移ります。</p> <p>お手元の野々市市創生総合戦略推進会議設置要綱第5条にもございますとおり、「会長は、委員の互選により定める」と、なっております。</p> <p>昨年度までは、金沢工業大学の名誉学長でございます石川委員に会長を務めていたただいておりました。</p> <p>事務局の案といたしまして、前期会長の石川委員に引き続きお願いできたらと考えておりますが、皆様いかがでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p> <p>ありがとうございます。ご異議がないようでございますので、これまでに引き続き石川委員に会長をお願いしたいと思います。</p> <p>石川会長、恐縮ですが「会長」のお席へ移動の上、一言、ごあいさつをお願いいたします。</p>
<p>石川会長</p>	<p>金沢工業大学の石川でございます。誠に僭越ではございますが、会長を引き受けさせていただきました。気持ちの引き締まる思いでございます。委員の皆様方のお力添えをいただきながら、これからの会議を進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>この会議の委員の皆様方は、野々市市における産学官民勤労言の7つの分野の代表として、選出された方々でございます。それぞれのお立場から、地方創生に関わる取り組みにつきまして、積極的にご意見をいただきたいと思います。また、各分野において主体的に地方創生を推進していただくことが求められていると思っております。</p> <p>昨年度は、3回にわたる会議を開催し、委員の皆様とともに「第2期の</p>

	<p>のいち創生総合戦略」を策定することができました。今年度は、本日の会議のみの開催となりますが、昨年3月まで推進してまいりました「第1期ののいち創生総合戦略」の進捗状況につきまして、お手元の資料をご覧いただきながら、皆様方からご意見を賜りたく思っております。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、この野々市市の持続可能な未来に向けて、率直なご意見をいただきますようお願い申し上げます。</p> <p>以上、甚だ簡単でございますが、会長としてのご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくようお願い申し上げます。</p>
司会	<p>それでは野々市市創生総合戦略推進会議設置要綱 第6条第1項の規定により、会長が会議の議長となることと定めておりますので、この後の進行につきましては、石川会長にお願いしたいと思います。</p> <p>また、野々市市創生総合戦略推進会議設置要綱 第5条第2項の規定により、副会長の選出についてもお願いいたします。</p> <p>石川会長、よろしくようお願いいたします。</p>
石川会長	<p>それでは、僭越ながら私の方から副会長を指名させていただきます。</p> <p>副会長は、これまでに引き続きまして、石川県立大学の榎本 俊樹委員にお願いをしたいと思います。</p> <p>榎本委員におかれましては、「副会長」のお席へ移動の上、一言ごあいさつをお願いいたします。</p>
榎本副会長	<p>石川県立大学の榎本です。今回は、野々市市創生総合戦略推進会議の副会長を、石川先生から指名をいただき、とても責任を感じております。今年度は今回のみの会議となりますが、石川先生を支援することで、この会議を円滑に進めていただき、大いなる成果を還元していただければと思っております。どうぞよろしくようお願いいたします。</p>
石川会長	<p>早速ではございますが、議事1番の「ののいち創生総合戦略について」事務局より説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><b>資料1 「ののいち創生総合戦略」について</b></p> <p>・「第1期ののいち創生総合戦略」は人口減少と地域経済縮小の克服に向</p>

<p>事務局 (説明)</p>	<p>け、平成 27 年 10 月に策定したもので、実施期間を令和元年度までとしていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標は、市の将来の姿を展望し、地域経済の拡大と持続可能な人口構造の維持を図るため、「選ばれる“まち”をめざして ～誇りと愛着を持つ、未来ののゝ市人のために～」と掲げており、市民には当市に誇りと愛着を、市外の人からは憧れを感じてもらえるような施策を行うことにより「選ばれる“まち”」をめざすものであった。</li> <li>・基本戦略は、基本目標を実現するための手段として、「しごとを創る ～野々市らしい産業の創出～」「ひとの流れを創る ～安心して暮らせる環境づくり～」「“まち”と“ひと”とのつながりを創る ～地域・広域連携によるまちの基盤充実～」の3つを掲げていた。</li> <li>・基本戦略1の「しごとを創る」と基本戦略2の「ひとの流れを創る」が連携することで、相乗効果が生まれ、更に基本戦略3の「“まち”と“ひと”とのつながりを創る」が「しごと」と「ひと」から相乗効果を生み出すための下支えとなるものであり、それぞれの強みを生かした連携を強化することにより、地域の課題の解決をめざす。</li> <li>・本日はこの第1期戦略について、推進の最終年度である令和元年度の進捗状況について、皆様に評価いただきたい。</li> <li>・第1期戦略の実施期間の終了に伴い、昨年3月、令和2年度から令和6年度までを実施期間とする「第2期のいち創生総合戦略」を策定した。策定にあたっては、第1期戦略の進捗状況を整理した上で、国が示す新たな6つの視点「地方へのひと・資金の流れを強化する」「新しい時代の流れを力にする」「人材を育て活かす」「民間と協働する」「誰もが活躍できる地域社会をつくる」「地域経済の視点で取り組む」を追加した。</li> <li>・第2期戦略の基本目標については、第1期を踏襲するものとし、基本戦略については、第1期の際に産業づくりに課題があったことを受け、「しごとを創る～野々市らしい産業の創出～」を主軸に、「魅力的なまちを創る～地域・広域連携によるまちづくり～」と「ひとの流れを創る～安心して暮らせる地域づくり～」の好循環をめざすこととした。</li> </ul>
<p>石川会長</p>	<p>ただ今の、事務局からの説明に、ご意見やご質問などはございませんか。資料1につきましては概要のご説明であったと存じます。続いて各論となります議事2番「令和元年度におけるののいち創生総合戦略の推進状況</p>

<p>事務局 (説明)</p>	<p>について」事務局より説明をお願いします。</p> <p><b>資料2 令和元年度におけるののいち創生総合戦略の推進状況について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政評価の手法を用いて、「第1期ののいち創生総合戦略」の推進状況の評価を行った。</li> <li>評価方法については、まず施策に応じた「具体的な事業」について総合的に評価を行い、次に、施策ごとに定めているK P I（重要業績評価指標）の評価を行い、最初に行った「具体的な事業」の評価とK P Iの評価と合わせて、点数化して総合的に評価を行ったものを、施策の評価としている。最後に、基本戦略で定めているK P Iの評価を行い、各施策の評価と合わせて点数化して総合的に評価を行ったものを、基本戦略の評価としている。</li> <li>それぞれ事業、施策そして基本戦略へと点数化した上で、客観的な評価を行い、それらを積み上げた上で、総合評価を行っている。</li> </ul> <p><b>基本戦略1 しごとを創る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>戦略として掲げるK P I「企業数」「従業員数」「付加価値額」の全てで、令和元年度実施の経済センサスの調査項目・調査要領の変更があり、これらの数値の把握ができなくなったことから、評価対象外としている。</li> <li>これにより「基本戦略1 しごとを創る」の総合評価としては、施策1-1「やや遅れている」、施策1-2「やや遅れている」の評価を踏まえ、「やや遅れている」と評価している。</li> </ul> <p><b>基本戦略2 ひとの流れを創る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>戦略として掲げるK P I「自然増減数」は、目標値を800人増としており、平成27年度から令和元年度までの増減数の累計が1,430人増でありましたことから、評価を「順調」としている。</li> <li>「社会増減数」は、目標値を1,500人増としており、平成27年度から令和元年度までの増減数の累計が423人増であることから、評価を「やや遅れている」としている。なお、野々市市の自然増減、社会増減からなる人口増減は、依然として増加傾向を維持している。</li> <li>「合計特殊出生率」は、基準値が1.69・目標値1.70に対して、令和元年度の実績値が1.81と、大きく目標値を達成していることから、評価を「順調」としている。</li> </ul>
---------------------	---

	<p>・「基本戦略2 ひとの流れを創る」の総合評価としては、これらのK P I の評価と施策2-1「おおむね順調」、施策2-2「やや遅れている」の評価を踏まえ、「おおむね順調」と評価している。</p> <p><b>基本戦略3 “まち”と”ひと”のつながりを創る</b></p> <p>・戦略として掲げるK P I「地域交流・地域支え合いの拠点の形成数」は、基準値が25箇所・目標値45箇所に対して、令和元年度の実績値が47箇所であり、評価を「順調」としている。</p> <p>・「自主防災組織結成率」は、基準値が74%・目標値90%に対して、令和元年度の実績値が98.14%であることから、評価を「順調」としている。</p> <p>・「石川中央都市圏ビジョンの策定」は、目標値を平成27年度策定としており、平成27年度に策定していることから、評価を「順調」としている。</p> <p>・「基本戦略3 “まち”と”ひと”のつながりを創る」の総合評価としては、これらのK P I の評価と施策3-1「おおむね順調」、3-2「おおむね順調」、3-3「やや遅れている」、3-4「おおむね順調」までの評価を踏まえ、「おおむね順調」と評価している。</p>
石川会長	<p>ただ今の、事務局からの説明に、ご意見やご質問などはございませんか。</p>
狩谷委員	<p>様々な取り組みを積極的に進めておいでると感じております。</p> <p>施策2-2の「若年者雇用促進事業新規雇用者数」については、国のトライアル雇用を利用した方に対して、市独自の施策を利用していただくもので「遅れている」という評価をされていらっしゃると思いますが、おそらく5年ほど前から見ますと、国のトライアル雇用の運用が変わっており、少し対象者が絞り込まれております。国の施策に市がプラスアルファの補助をするという形になったときに、元の受け皿である国の施策の方が、対象者を厳しく選別するような形になってますから、少ないのはやむを得ないという説明を加えても良いかと思えます。</p> <p>何かの機会にご確認いただければ、事業自体がさほど遅れているものではないということになるかと思いました。</p>
北部長	<p>今ご指摘の通りに、国のトライアル雇用が終了して、その後、常用雇用に移行した場合に、3ヶ月以上の雇用につきまして、市の方から事業者に対して、一人当たり5万円の補助金を出すというような取組でございま</p>



	<p>す。</p> <p>実績値が0となったのは、委員がおっしゃるように、国の制度の変化で、ハードルが高いというようなこともありますので、今のご意見をまた参考にしながら、検討を進めてまいります。</p>
<p>藤田委員</p>	<p>一つずつの取組に対しては、私はこれでありがたいと思っております。</p> <p>私ども市の連合町内会におきましては、資料1に記載があるような国が示す拠点づくりということで、6年前に「結ネット」という町内会回覧板アプリを製作いたしました。</p> <p>コロナ禍の中で、企業とさらなる開発を暫時進めており、ビジネスモデルを作りたいと思っております。市内に住まれる若い方々で、ご自宅から作業ができるような開発などを検討しております。</p>
<p>西村委員</p>	<p>「基本戦略1 しごとを創る」が、「やや遅れている」というような評価となっております。「しごとを創る」は新しい産業を呼び込む、新しい雇用を創出するなどが内容となるかと存じます。</p> <p>商工会としましては、新しく生まれてくる産業にどう働きかければ目標値を達成するかということが、大事なことと捉えています。どういった手法が良いのかは産学官で連携し、知恵を絞っていけば良いと思いました。</p>
<p>北部長</p>	<p>今ご指摘の通りに、市としても「しごとを創る」に関しては課題があると捉えております。創業塾や、創業セミナーというような取組は行っておりますが、いざ起業となると課題が多いとも感じています。別の観点から言いますと、地域製品のブランド化ということで、地域で作ったものの特産化をし、それを仕事につなげていけないかというようなことも考えていく必要がございます。</p>
<p>小西委員</p>	<p>我々金融機関ではこの「しごとを創る」が一番身近な話ですが、今ほどお話がありましたように、野々市市は魅力ある住みやすいまちなので、いかに働く場所を作るかというのが課題かと思えます。</p> <p>それに対して、様々に施策に取り組んでおられ、今はまだ道半ばということなんでしょうけれども、我々も創業者をサポートする部署がございまして、創業のご相談から創業後の計画まで行っており、野々市にも支店が</p>

	<p>ございますので、また連携させていただければ良いかと思えます。こちらの本店の方にご相談があり、中にはもう創業の場所を決めていらっしゃる方もおいですが、場所から相談される場合もあり、我々も野々市の方に出店を誘致するなどの流れになれば良いかなと思えました。</p> <p>そういった中で、創業者支援事業補助金（広報活動支援事業）といったものをもっとアピールさせていただいて、我々も共有させていただければ、野々市にはこういう制度があるという周知もできるかと思えます。</p> <p>またブランド認定制度、これも例えば、認定だけではなく、認定した後の販路や販売のプラットフォームを作るなどのお手伝いもできるかと思えますし、そういう成功事例を作っていけば、またそこで魅力を感じて、出店される方もいらっしゃるのかと思えます。今金融機関も、特にこの創業支援に力を入れており、本日北陸信用金庫さんも来ていらっしゃいますがおそらく同じかと思うので、さらに連携をしていただければ良いかと思えます。</p>
狩谷委員	<p>今ほどの次世代を担う産業の創出というお話ですが、確かに市内には金沢工業大学さんも石川県立大学さんもいらっしゃって、色んな新しい産業を作ることができる地域だと思えますし、新しい産業を作って雇用を創出するというのも大事ですが、地域の方が働ける職場をつくるという観点の一つが、新しい産業づくりだと思えます。</p> <p>その中で「施策2-1 多様な働き方の確立」とありますが、すでに市内には色んな働く場所・企業がございます。色んな条件を持った方でも働くことができる・今ある職場が働きやすい、そんな企業に変わっていくというのも地域を支える上ではとても大事なことだと思えます。例えば、ワークライフバランスに則った職場づくりを進める企業さんを、増やすことによって、良い循環が生まれるのではないかと思えますし、両輪で進めていただければと感じます。</p>
北部長	<p>お2人の方のご意見どうもありがとうございます。</p> <p>小西委員のご意見ですけれども、広告活動の支援ということで、業種的には、美容業や専門サービス業で、ホームページや情報誌に掲載といった補助をしているところです。ただ、やはり道半ばといえますか、ブランド認定制度もやっと数年経ったところで、販路拡大というところが一つのキ</p>

	<p>ワードだと思えますし、金融機関様と連携を図りたいと感じております。</p> <p>また、狩谷委員からのご指摘の通りに、シルバー人材センターという団体もごございますし、ハローワークさんとも連携しながら会員を拡大することで、仕事生まれ、生きがいも見つけていくというようなことが見込まれますので、事業を推進してまいりたいと感じました。</p>
澤村委員	<p>「女性の就業率」について、基準が 53.2%、目標値が 54.0%ですが、私が見る限り、もう少したくさん働いておいでる気がします。先ほどハローワークさんがおっしゃったように、既存の一般の企業などで、働きやすいような環境を整えば、女性も少なくとも 60%を超えるぐらいの就業率があっても良いのかと思います。</p> <p>例えば農業をしているとか、少し働きに出ている人も入れると、相当数の女性の方が働いていると思うのですが、これが収入に繋がらなかったり、働いてると大きな声で言えなかったりすることもあるかと思しますので、それが表れるようになれば良いと思います。</p>
木戸口課長	<p>こちらにお示ししております女性の就業率は、平成 22 年の国勢調査の結果で、第 2 期戦略には平成 27 年度の国勢調査の時の結果を掲載しており、就業率は 54.7%でございます。上昇傾向にあることから、令和 2 年度の国勢調査の結果についてはまだ今集計中ということではありますが、おそらくさらに上がってるのではないかと感じているところです。</p>
榎本副会長	<p>「産学連携支援事業」が 0 件ということで、石川県立大学の横に i-BIRD がございますが、おそらくこの制度をあまり知らない企業さんがいらっしゃるということと、あと県や ISICO さんなどの支援事業の方にまず応募するという企業さんもいると思いますので、そちらに残念ながら採択されなかったような方へのお声がけも良いと思います。</p> <p>また、なかなか言えないことだと思いますが、この第 1 期戦略で市内での進捗具合が素晴らしいというのはわかりますが、他の自治体の取り組みと比べて、野々市市の取り組みが、非常に素晴らしく、よってここがすみやすいというような訴え方も良いと感じております。</p>

<p>北部長</p>	<p>ISICO といいますと、今ちょうどコロナの関係で、市役所の方に中小企業診断士の方に、週に何度か出張窓口を設けていただいております。</p> <p>また i-BIRD につきましても、市が借り上げをいたしまして、部屋を3つに分割してある程度の大きさにして、貸し出ししましたところ2社ほど借りていただいております。こういった借りやすい状況も作りながら、また今ご指摘のあったところも検討し、さらなる推進してまいりたいと感じております。</p>
<p>山口委員</p>	<p>先ほどはご挨拶をさせていただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>ののいち創生総合戦略は非常に具体的ですばらしいものだと感じております。その中で、我々信用金庫ができることを考えておりましたが、昨年9月に鶴来信用金庫さんと合併させていただきまして、ますます地域に根差した経営というものを、理念に掲げております。</p> <p>先ほど北國銀行さんからもお話があった通り、新規の事業者、或いは創業者ということで、今このコロナ禍で非常にお客様の資金繰りも厳しい中で、新たな事業をされるという方も、中にはおいでますし、とにかく資金繰り・経営というものを考えると、国・県・市を含めた補助金のご案内というものを、しっかり今後もやっていかねばならないと感じており、連携をお願いしたいところです。</p> <p>また新しい事業を行う中で、生産者等と販売事業者同士のマッチングというものを、今、課題解決の中の一つとして掲げております。こちらにつきましても、本部の事業先支援部というのも設け、また人員も増員させていただいて、お客様の課題解決をさせていただいております。</p> <p>そのような中で、より強い連携というものを、今後もお願ひしたいですし、私個人も現場でお客様の課題に向き合っていきたいと思ひます。</p>
<p>北部長</p>	<p>商工会さん、また金融機関さんと連携しながら、事業者の方々に支援をして参りたいと思ひます。</p>
<p>藤田委員</p>	<p>先ほどの「結ネット」ですが、企業が非常に興味をもっており、すぐにビジネスモデルを提案してきました。市に求めることとしては、市という公共性をブランド化することを、もう一度バックアップしていただければありがたいと思ひます。市民の活動が、今の時代はもうビジネスになりう</p>

<p>北部長</p>	<p>る時代だと僕は思っています。</p> <p>今のご意見は、市の付加価値が上がればそれはすべての行動に繋がっていくかと思えます。やはり選ばれる、また、集えるような、市を目指す、それが今のご発言とつながっていくかと感じました。</p>
<p>石川会長</p>	<p>それでは、次の議事にうつります。</p> <p>議事3番「地方創生関連交付金等（令和元年度）の効果検証について」事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (説明)</p>	<p><b><u>資料3-1から3-3 地方創生関連交付金等（令和元年度）の効果検証について</u></b></p> <p>・市の創生を実現するために、国の地方創生関連の交付金等を活用しており、その効果の検証にあたり、実施状況に関する客観的な指標の重要業績評指標（K P I）を事業毎に設定している。その達成状況について、外部有識者である野々市市創生総合戦略推進委員の皆様の効果の検証をしていただくこととしている。</p> <p><b><u>資料3-1旧北国街道を舞台とした「野々市版コミュニティ・リビング」創出プロジェクト</u></b></p> <p>・地方創生の深化のすそ野を広げる取組である横展開タイプの事業として取り組んだもので、地域再生計画上の事業総額は46,430千円、事業実施期間は平成29年11月の地域再生計画の認定から令和2年3月までの3ヶ年度までを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和3年3月31日まで延長することとしている。</p> <p>・事業の概要は、「学びの杜ののいちカレード」や「にぎわいの里ののいちカミーノ」といった新たな拠点施設を北国街道でつなぎ、文化会館フォルテや郷土資料館を含むエリア全体としてまちづくりをすることで、にぎわいを創出して交流人口を増やし、定住人口の増加及び産業の振興につながる本市の創生をめざすものである。</p> <p>・実施内容は、市花木の椿の葉を活用したお茶の開発の研究や市の特産品</p>

であるヤーコンの研究を石川県立大学さまのご協力のもと行っている。なお、金沢工業大学さまとは交付金の枠組みではないものの、昨年にはSDGsに関する研修を行っていただき、またSDGsに関する連携協定を締結させていただくなど、市の地方創生に関する取り組みを広く進めていただいている。

- ・実績値を踏まえた今後の方針は、交付金は今年度で完了となるものの、市民活動や観光の拠点として、「にぎわいの里ののいち カミーノ」や旧北国街道を舞台にしたイベントを開催し、にぎわい創出につなげていきたいことから、事業は継続する方針である。

- ・今年度の取組状況や実績値などから、事務局では、「ののいち創生総合戦略のKPI達成に有効であった」と判断している。

### 資料3-2 「百万石の伝統を活かした文化・観光プロジェクト」

- ・石川県が中心となり申請を行っている、県内全19市町が対象の県広域連携の事業である。

- ・計画期間は、平成28年4月20日から今年度末の令和3年3月31日までとしており、野々市市の交付金対象事業額は40万円で、その2分の1の20万円が交付金の交付額となっている。

- ・事業の概要は、全体事業は、石川県と県内全19市町と金融機関等が連携して、地域における魅力ある雇用の場の創出や交流人口の拡大を目指すもので、野々市市関連の事業としては、小松空港周辺7市町において、旅行商品の造成・販売を支援することで、地域の活性化・地域の魅力に繋げ、あわせて、小松・羽田便の活性化を図るものである。

- ・実施内容としては、航空利用観光誘客促進事業として、市から小松空港協議会に負担金を支払い、小松空港協議会が、小松・羽田便を利用し、宿泊を伴った体験等の旅行商品を造成するものである。

- ・「実績値を踏まえた今後の方針」として、更なる地域活性化・地域の魅力向上に繋げることと合わせて、小松空港の利便性を維持するため新たな利用者の確保と現在の利用者の継続した利用を他の市町と連携して図っていく必要があることから、今後も事業を継続すべきであるとしている。

- ・今年度の取組状況や実績値などから、「ののいち創生総合戦略のKPI達成に有効であった」と判断している。

### 資料3-3「賑わい創出による創業マインドの育成計画」

- ・事業実施期間は、平成29年3月の地域再生計画の認定から令和2年3月までの3ヶ年度で実施する予定でしたが制度の延長があったことや、事業も好評であったことから、5年間延長し、令和6年度までの期間で実施することとした。
- ・事業の概要は、図書館と市民学習センターを併設している「学びの杜ののいちカレード」に数多くの創業に関する蔵書の配置や体験会、講座の開催など市内外の創業希望者の集客を見込み、市内外の創業希望者に支援を行うもので、また、他自治体の図書館との連携により、市外の人を呼び込み、市の魅力を広く伝え、移住・定住につなげるもの。
- ・令和元年度の実施内容は、創業に関する図書としてビジネス支援図書、地域の課題解決に役立つ図書等、令和元年度は16,995冊もの図書を調達している。創業希望者が関連する図書を手に取りやすくするため、創業に関する図書はビジネス支援コーナーに配架し、市内外の創業希望者に御利用いただいている。
- ・実績値を踏まえた今後の方針は、創業の実現や同じ志を持った仲間づくりにつながっていることから、次代を担う創業者の掘り起しや育成に取り組んでいくとともに、これまで以上の市民に喜んでいただける図書の選定、催しの開催に努めていくためにも、今後も事業を継続すべきであるとしている。
- ・今年度の取組状況や実績値などから、事務局では、「ののいち創生総合戦略のKPI達成に有効であった」と判断している。

石川会長

ただ今の、事務局からの説明に、ご意見やご質問などはございませんか。

ありがとうございました。

資料3-1から3-3それぞれの取り組みに対して、本会議での評価を「ののいち創生総合戦略のKPI達成に有効であった」としたいと思いますがよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

これにて全ての議事が終了しました。

	<p>本日は熱心にご議論いただき、誠にありがとうございました。  それでは、この後の進行につきましては、事務局にお返しします。</p>
<p>司会</p>	<p>本日は皆様から貴重なご意見ご提言をいただき、誠にありがとうございました。  それでは最後に、閉会にあたりまして副市長の山口よりごあいさつを申し上げます。</p>
<p>副市長</p>	<p>石川会長、議事の進行を誠にありがとうございました。  本日は長時間にわたりまして、熱心にご審議を賜り、誠にありがとうございました。  委員の皆様からは、個々の施策を進めていく上で、大切となる視点について、市としても、参考となるご意見をたくさん提案いただきました。  また、個々の施策の充実に加え、コロナ禍であってこそ市のステータスをさらに上げていくような取り組みが必要ではないかというようなご提言もいただいたところでございます。市といたしましても、着実に取り組みを進めてまいりたいと考えております。  委員の皆様におかれましては、今後とも、本市のまちづくりに対する率直なご意見を賜りますようお願いを申し上げます、閉会のご挨拶とさせていただきます。</p> <p>司会</p> <p>それでは以上をもちまして、令和2年度 野々市市創生総合戦略推進会議を終わらせていただきます。  委員の皆様、本日はありがとうございました。</p>